

有効回答数 34 (ご利用者保護者様44名)

① この評価で何を得るかを明示する上で、机や本棚の設置など、子ども本人にわかりやすいように、子ども本人の意見や希望を聞き取り、子どもが安心して生活できるような環境を整える。

② 児童が生活環境を利用する際の子どもへの注意、その際の注意喚起、置かれた環境の中で日常生活全般の状況に関するアセスメントを通して、総合的な支援目標及び達成順、生活全般の質を高めるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する体制を明らかにする。

③ 事業所の児童の状況で、一定の目的を達成して行われるべき活動の動き、子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて実施計画と組み合わせて実施されるべきことが想定されている。

④ 保護者が子どもの活動を理解し、障がいの特性を理解した上で、障がいの特性を踏まえ生活の場を学習とし、子どもが適切な生活環境を確保することを目指すこと。